

令和6年度  
歳入歳出決算の概要説明

令和7年10月23日  
総務部

総務部長の 山本 祥生でございます。

どうぞよろしくお願ひいたします。

それでは、御審議をいただくにあたりまして、令和6年度の総務部の決算及び主要事業の概要を御説明申し上げます。

まず、決算の概要につきましては、総務部の一般会計の歳入額は

予算現額	4,976 億	272 万	4,032 円
調定額	4,772 億	3,831 万	9,049 円
収入済額	4,762 億	6,433 万	9,471 円
不納欠損額		5,855 万	2,172 円
収入未済額	9億	1,542 万	7,406 円

となっております。

不納欠損額の主なものは、個人県民税、不動産取得税であり、収入未済額の主なものは、個人県民税であります。

一般会計の歳出額につきましては、

予算現額	1,691 億	2,934 万	8,000 円
支出済額	1,677 億	2,527 万	8,832 円
翌年度繰越額			0 円
不用額	14 億	406 万	9,168 円

となっております。

なお、不用額の主なものは、人件費の執行残や法人税の還付金の執行残などでございます。

その他総務部関係では、特別会計のうち、職員住宅特別会計、市町村振興資金特別会計、自動車税証紙特別会計、公債管理特別会計において、事業を実施しております。

続きまして、「令和6年度主要施策の成果」に基づき、その中から主な事業の概要を御説明申し上げます。

「令和6年度主要施策の成果」の7ページを御覧ください。

総務課では、「公文書管理システム事業」として、事務の効率化及び公文書管理の適正化を図るため、公文書の収受、起案等から保存、廃棄等に至る文書事務を電子化する公文書管理システムを運用しております。

この事業に係る決算額は、1,485万円でございます。

人事課では、「職員研修事業」として、職員の更なる能力向上及び意識改革を図るため、階層別的一般研修をはじめとする各種研修を開催し、延べ3,667人の職員が受講しました。

この事業に係る決算額は、2億1,014万7千円でございます。

このうち1億9,008万9千円は旧職員研修所の解体工事費でございます。

次に、8ページを御覧願います。

考查課では「監察査察事業」として、県の事務事業における不正な行為や非効率な行政運営等の早期発見、早期是正のため、不正行為等通報制度等に取り組みました。

この事業に係る決算額は、134万5千円でございます。

財政課では「外部監査事業」として、和歌山県立こころの医療センター及び高等看護学院・なぎ看護学校に関する事務の執行、災害医療対策事業及びへき地医療対策事業に関する事務の執行について外部監査人による包括外部監査を実施しました。

この事業にかかる決算額は、993万2千円でございます。

次に、9ページを御覧願います。

税務課では「賦課徴収事務事業」として、県税の適正課税と確実な徴収を図るとともに、市町村による県民税の徴収費用を補償する個人県民税徴収取扱費の交付などを実施しました。

この事業に係る決算額は、32億9,164万円でございます。

次に、10ページを御覧願います。

市町村課では、「住民基本台帳ネットワークシステム・マイナンバー制度運用事業」として、住民の利便性の向上と行政の合理化を図るため、市町村、都道府県及び地方公共団体情報システム機構を結ぶ住民基本台帳ネットワークシステムの運用管理を行うとともにマイナンバー制度に係る普及啓発を行いました。

この事業に係る決算額は、1億577万8千円でございます。

次に、11ページを御覧願います。

管財課では「本庁舎管理事業」として、本庁舎の施設環境及び設備の維持管理を行いました。

この事業に係る決算額は7億4,328万8千円でございます。

次に、「財産管理事業」として、県有財産の適正な維持管理を行うとともに、不用となった財産は売却処分等を行うことにより歳入確保を図りました。

この事業に係る決算額は1,888万1千円でございます。

次に、「総合庁舎管理事業」として、振興局が入居する総合庁舎における施設環境及び設備の維持管理を行

ました。

この事業に係る決算額は2億6, 342万1千円でございます。

行政企画課では、「DX人材育成・外部人材活用事業」として、DXリテラシー向上研修や業務課題解決型ワークショップ研修を実施したほか、行政課題の解決促進のための外部専門人材を5職種5名採用しました。

この事業に係る決算額は、3,321万1千円でございます。

次に、「市町村行政DX推進事業」として、県において外部専門人材を確保し、市町村毎の個別支援を実施したほか、合同研修会や地域別よろず相談会の開催等により、市町村間の連携強化を図りました。

この事業にかかる決算額は、7,854万8千円でございます。

次に、12ページを御覧願います。

情報基盤課では「庁内システム運用管理事業」として、各種業務システムを集約している共通基盤の運用・保守のほか、人事給与システム、地理情報システムの維持管理を行いました。

この事業に係る決算額は、1億7, 895万2千円でございます。

次に、「行政ネットワーク基盤運用管理事業」として、統合利用セキュリティ基盤の更改に伴う調査設計や、きのくに<sup>イニ</sup><sup>ネ</sup><sup>ット</sup>及び庁内LANといったネットワーク基盤の構築など、情報システム環境の整備・運用を行いました。

この事業に係る決算額は、15億789万2千円でございます。

行政管理課では、「行政改革推進事業」として、行政需要の変化に適切に対応した簡素で効率的な組織・人員体制の構築に取り組みました。

この事業にかかる決算額は、88万円でございます。

以上で、令和6年度の総務部の概要説明を終わらせていただきます。

何卒、御審議の程、よろしくお願ひ申し上げます。